



2月22日は「ねこの日」

■2月23日と24日、ねこの日にちなみ、市立図書館で「ねこ」をテーマにしたイベントが開催され、絵本と紙芝居の読み聞かせのほか、地域猫活動団体「ラ・ヴィ」の活動の発表などがあり、地域猫についての理解を深めました。



生誕120年
吉井淳二特別展を開催

■2月28日から3月20日までの間、「生誕120年 吉井淳二特別展」が開催されました。3月10日には、県美術協会会長の祝迫正豊氏のギャラリートークが開催され、たくさんの人が訪れていました。



中村りんね写真展
風は南からくを開催

■3月23日から31日の間、本市地域おこし協力隊・中村琳音隊員の作品展を開催しました。着任以来2年近く撮りためてきた枕崎の美しい風景や人々の姿を写した枕崎の魅力あふれる作品の展示を行いました。



しゃらく立神写真展を開催

■3月23日から4月14日まで、枕崎の写真グループ「しゃらく立神」による作品展を開催しています。風景や日常の一コマなど一瞬の感動を切り取った美しい作品をぜひご覧ください。



100歳の誕生日を迎えました

～桑原富子さん、茶園ヒミさん

3月20日までに、2名の方が100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

1 桑原富子さん(栄本町・3月10日)

枕崎出身の桑原さんは、4人の子どもの生まれ、若い頃は農業をしており、からいもや大根を育てていました。趣味は家庭菜園で野菜等を育てることという桑原さん、長生きの秘訣は「正直に生きること」と話します。

2 茶園ヒミさん(中央町・3月20日)

枕崎出身の茶園さんは、1人の子どもの生まれ、若い頃は大阪で紡績の仕事をした後、枕崎の呉服屋で縫製の仕事をしていました。趣味は家庭菜園でインゲン豆、ピーマン、ナス等を育てることという茶園さん、長生きの秘訣は「よく笑い、よく食べることと、94歳まで家庭菜園を楽しんでいたこと」と話します。

皆さん、これからも元気で長生きしてください。



全国の舞台上でトップレベルの演奏を披露

～火の神乙女太鼓 爽 日本太鼓ジュニアコンクールで特別賞を受賞

3月24日、さいたま市の大宮ソニックシティで開催された第26回日本太鼓ジュニアコンクール(18歳以下の全国大会)において、海外を含む全国各地から46チームが出場する中、火の神乙女太鼓 爽 が特別賞(宮本卯之助商店賞)を受賞しました。

リーダーを務める枕崎高校2年生の萩原李羽さんは「少しプレッシャーを感じながらも思いっきり楽しんで全力で演奏することができました。来年に向け、もっといい音が届けられるように頑張ります。引き続き火の神乙女太鼓 爽 の応援をよろしくお願いします」と話しました。



枕崎高校卒業式にふるさと枕崎の歌声響く

～枕崎高校PTA企画のサプライズライブに感動広がる

3月1日、枕崎高校の卒業式が開催され、28名が卒業を迎えました。卒業式終了後、本市出身のデュオ「nutmeg(ナツメグ)」によるサプライズライブが行われ、「ふるさと～枕崎～」や卒業生のために作曲したという「旅立ちの日に」など3曲を披露し、歌のエールを送りました。

卒業生の励みにと同校PTAと同窓会が企画したもので、卒業生の深野木雄星さんは「18年間耳にしてきたふるさと枕崎を目の前で歌っていただいて胸に響きました。卒業後は県外で生活することになりますが、今日の思い出を胸に頑張りたいと思います」と話しました。



枕崎に春の訪れ

～「まくらざき春の市2024」を開催

2月25日、南薩地域地場産業振興センター周辺において、「まくらざき春の市」が開催され、枕崎を中心に南薩地域の特産品などが並びました。

歩行者天国となった海岸通りは、けん玉パフォーマンスやダンス、白バイの公開模範演技のほか、自衛隊車両の展示、幼児から大人までたくさんの団体によるよさこいなど、盛りだくさんの催しに市内外から多くの人出で賑わいました。



市営野球場で薩摩おいどんカップ開催!

～ハイレベルな試合に野球ファン熱狂

2月26日から3月5日までの間、市営野球場で薩摩おいどんカップの試合が開催されました。

2023年から始まり、枕崎では初めての開催となる薩摩おいどんカップは、大学・社会人・プロの垣根を超えた硬式野球の交流戦。全国の強豪チームのハイレベルな試合が間近で見れる貴重な機会に、市内外から多くの野球ファンが訪れ、ホームランやファインプレーなどに歓声が上がっていました。



能登へ届け! 不用品を集め売却金を寄付

～枕崎青年会議所がチャリティーイベントを開催

3月9日、武道館で枕崎青年会議所の主催する令和6年能登半島地震復旧・復興祈念チャリティーイベントが開催されました。

家庭で眠っている不用品の提供を受け、その売却金を災害支援金として寄付しようと枕崎青年会議所が企画したもので、およそ1,000点の不用品の提供があり、10万円程の災害支援金が寄付されました。

被災地の日も早い復興を願っています。

